

東京学芸大学高校探究プロジェクト
Z-kai × 東京学芸大学附属高等学校

教科の授業の探究化 オンラインセミナー

#5 歴史分野での挑戦

歴史分野：2023年12月26日(火)

16:00-17:00 オンライン開催

- 探究的な授業をしたいけど、入試対策のためにまずは内容を早く終わらせないと...
- 探究が重要なのはわかるけど、入試対策が手薄になるのが心配...

「探究型授業の普及にとって障害となる、大学入試対応と探究型授業は両立しない」
という前に...

入試問題はどのような「学力」を問うているの？

私の授業はどのような「学力」をつけようとしている？

私はどのような「学力」をつけたいの？

入試問題と授業の「学力」は具体的にはどう矛盾しているの？
と考える機会にしたい

大学入試×探究

- 入試問題を使って探究する
- 通常の内容で探究する

本セミナーの構成

- 取り上げた問題・授業実践（とその評価方法）の紹介
- 対話

提案をもとに対話をし，試作問題や授業展開について協議します。

「私は何を目標として授業を行っているか，その授業における成果（学力）を評価する手立てとして何を行っているか」

- 提言

「サンプル問題」への提言／からの学び

取り上げた問題・授業実践の紹介

東京学芸大学附属高等学校

加藤 将 先生 より

Z-kai × 附属高等学校 コラボセミナー

歴史総合セミナー

歴史総合に相当する単元

- B 近代化と私たち
- (3) 国民国家と明治維新
- 本校では、2学期前半に実施
- ただし、この期間は、教育実習期間。実習生に全ての授業を明け渡し。

■単元の展開：『詳解 歴史総合』東京書籍

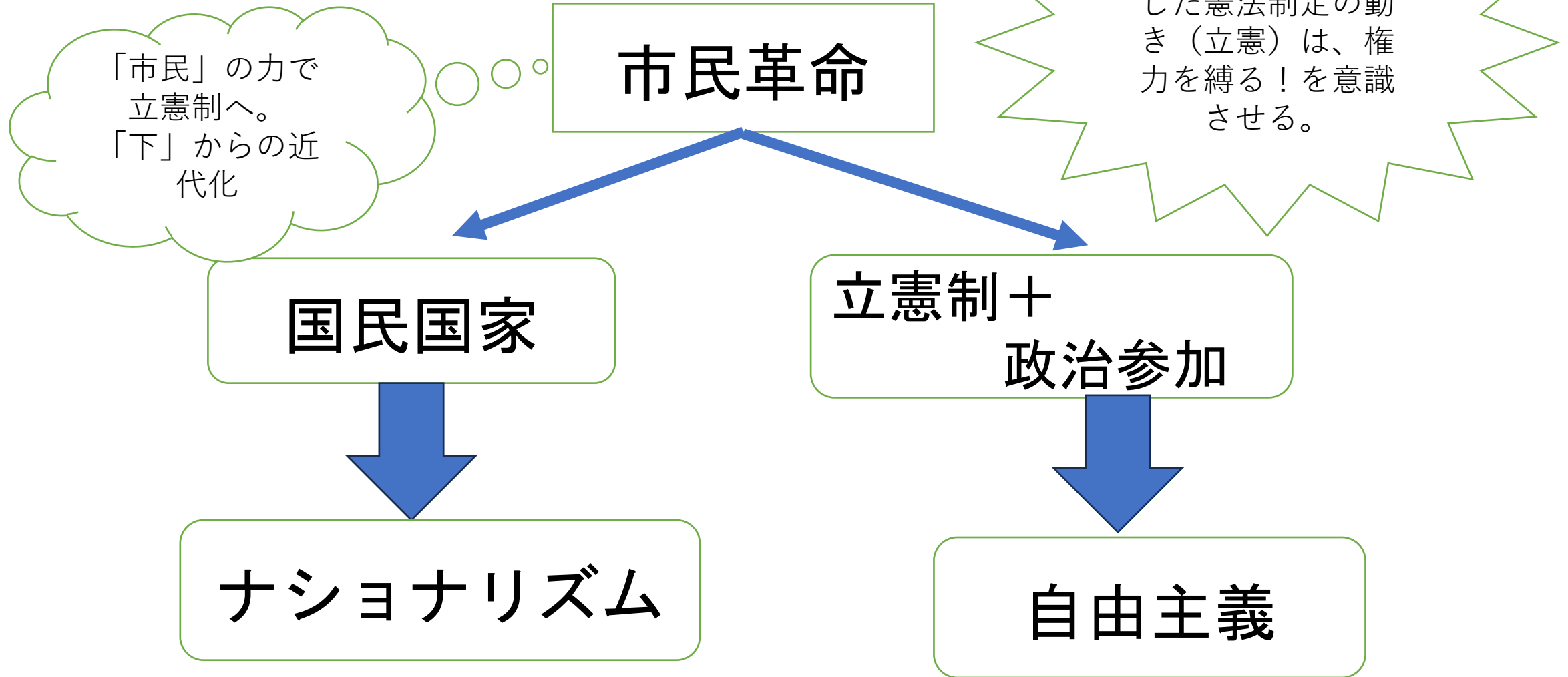
・教科書の項目に即して授業。青は、実習生が実施。

- 1 市民革命と近代社会
- 2 自由主義とナショナリズム
- 3 アジアの諸国家とその変容
- 4 明治維新と東アジアの国際関係
- 5 立憲制の広まり
- 6 帝国主義と植民地
- 7 日清戦争と華夷秩序の解体
- 8 帝国主義諸国の競合と国際関係
- 9 植民地支配と植民地の近代
- 10 20世紀はじめの世界

■授業実践その 1

- 普段の授業において
 - ・「歴史総合での用語の多くは、中学と一緒に。点と点を結びつけることが大切」を授業に常に伝える。
 - ・「教科書を」教えるでなく「教科書から」教える。
※ 今年から自らの授業で重視。（教科書の読み込みも）
- キーワード（概念）を意識した授業
 - 「革命（税）」「市民社会」「ナショナリズム」「国民国家」「国民」「自由主義」「立憲制」「主権国家」「市場」「帝国主義」「保護国」「植民地」など
 - 実習生が展開した箇所についても、上記のキーワード（概念）を使用しながら復習を兼ねて、授業を実施。
- 普段の授業から、「一問一答」をはじめ、生徒に発問を投げかける
 - ・「なぜ、市民革命が起きたか」
 - ・「日本（やアジア）では、どのようなタイミングで『ナショナリズム』を意識したか」
 - ・「ペリー来航に日本はどのように対応したか？」

■授業実践その2



■授業実践その3

- インド、清、シャム（タイ）



ヨーロッパとの関係、圧力



近代化（西洋化）を迫られる

- 具合的に・・・日本は？
- ペリーの圧力・・・

立憲制を整えたヨーロッパの
圧力を前に、権力側が主導し
て憲法を制定を意識させる。

= 民衆を権力が縛る。

= 欧米諸国への対応

■授業実践その4

・授業パターン1(分)

- ① 教科書の熟読と整理 (20)
- ② 教員による解説(30)
- ③ 教科書を基にした「問い」の考察と解説(20～30)

「日本はなぜ、フランスやアメリカではなくプロイセンの憲法を模範にして大日本帝国憲法を制定したのだろうか。」5項目「立憲制」

「日清戦争によって、東アジアの国際秩序はどのように変化したのだろうか。次の点（清・日本・ロシア）に着目して説明しよう。」

7項目「日清戦争・・・」

・授業パターン2 (分)

- ① 教科書の熟読と整理 (20)
- ② 教科書の疑問点の書き出し(5)
- ③ 資料集などから疑問点の整理(10)
- ④ 教員による解説(15～25)
 - 「閉じた問い」でなく、どうしても答えが分からない内容。
- ⑤ 疑問点を参考に「開いた問い」を立てる。(5)
- ⑥ 班の中での「開いた問い」の共有(5)
- ⑦ 「開いた問い」の考察 (15)

■ 授業実践その4・授業パターン2の生徒が立てた「開いた問い」 「9 植民地支配と植民地の近代」

- 初等教育が優先されたのはなぜだろうか？（日本で）
- 甲案を利用したことの利点
- なぜ韓国併合と言いながら植民地を進めたのか？
- 韓国はどのような流れで日本に併合されたのか？
- 日本とイギリスの2国間で、植民地教育に違いがでたのはどうしてか？
- どのようにして日本とイギリスの植民地における教育に対する考え方のちがいが生まれたのか？
- インドではカーストの相異やヒンドゥー、ムスリム間の対立でどのようなことが起き、後世に影響を与えたのだろうか。
- アフリカでインド人が安価な労働として利用された理由
- 印僑が賃金の安いはずの所へ移民した理由はなぜか。

■授業実践その4・授業パターン2の授業感想

- 今までは、別々に捉えていた立憲主義、帝国主義、ナショナリズム、社会主義などを、一連の流れの中でつなげて考えられるようになった。……ナショナリズムの危険性も学ぶことができた。
- 学習前は帝国主義とナショナリズムは関連しないと思っていたが、植民地政策がナショナリズムを高めていたと分かり、関連性を意識して捉えられるようになった。
- 授業①～⑩まで毎回「問い」の答えを書くことで、欧米諸国などの列強国同士の争いに、アジア・アフリカなど世界各地の国が巻き込まれていき、最終的には、世界に二極化した大きな対立構造ができるという流れをつかむことができた。これまで歴史を学習する時に「〇〇が～のために××をした」という様な小さな視点しかなかった。しかし授業①～⑩を通して、流れをつかむための大きな視点を取り入れられるようになった。
- 学習前は、立憲制の導入などの近代的な政治改革はc主にヨーロッパ諸国で起こったと思っていたので、アジア諸国など他の地域がこれにどのように影響を受けたかについてはよくわかっていなかった。学習を通じて、欧米モデルの政治改革が世界の国々に与えた影響の大きさに気付く、歴史上の出来事がその地域だけでなく、世界中の出来事と密接に関連していることを改めて感じた。
- 自分が「日本」をスポーツなどで応援するのも、ナショナリズムの一種なのだと授業を経て実感した。万が一戦争になった場合、日本のナショナリズムはどうなるのか不安である。
- 学習前は、国民国家という考え方を持ったことがなかったので 産業革命→経済発展→列強の植民地政策→同盟、戦争 という流れをざっくりと持っていたけど、今回の学習で 産業革命→経済発展→市民革命の活発化→国民国家形成→植民地政策→同盟、戦争 という流れの考え方になった。国民国家が形成された後も、政府による自国愛の煽動だったり、戦争中の重い課税だったり、政府がやりたいように国民を操ってる感が抜けきれないのが帝国主義の特徴なのかな、と思った。
- 一言に「近代化」というと、憲法を作ったりするようなことかな、と思っていたが、もっと複雑に様々な要素（例えば革命、ナショナリズム、立憲、帝国主義〈植民地であれば独立することで近代化につながることもある〉など）が絡んで成り立っているものだと考えるようになった。これまでも変化といえば山ほどあったが、近代化というのは、世界の転換期だと思う第二次世界大戦へ向かっているものだというふうに感じ、歴史においても最も重要といっても過言ではないのではないかと思うようになった。

〔1〕 明治維新に関する次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(20 点)

工業化・産業化や近代国家・社会の形成が進んだ欧米諸国の世界進出など、世界的な政治・経済秩序の変化と関わり、a 19 世紀のアジア諸地域では、各地の置かれた条件に応じて多様な政治的变化が起きた。

欧米諸国と条約を結んで開港した日本でも、国内が政治的に動揺し、天皇をおし立てて対外強硬政策をとることを主張する【 1 】運動が高まった。幕府の権威は失墜し、これまで幕府の政治に関わることができなかった有力大名の政治的影響力が増す中で、薩摩藩・長州藩などの徳川家の打倒をめざす勢力が現れた。こうした勢力が京都で起こしたクーデタによって【 2 】の発令が発せられ、天皇を中心とした新政府が樹立された。これに反発する旧幕府勢力との戦争に勝利した新政府は、全国に支配権を確立し、これまでの国のしくみは急速に改められた。

戊辰戦争後も依然として独自の軍勢力と徴税権を有していた b 各地の藩は廃藩置県によって廃止された。江戸時代の身分制度は廃止され、c 江戸時代に支配身分の中核として武力を独占してきた武士身分は消滅した。これにともない、江戸時代の家禄を廃止する【 3 】が断行された。また、江戸時代の年貢も廃止され、新たに d 地価にもとづいて徴税を行う全国一律のしくみが導入された。この土地制度・税制の改革を【 4 】という。

問 1 《知》【 1 】～【 4 】に当てはまる適切な語句を、次のア～エのうちからそれぞれ選
びなさい。 4 点

ア 王政復古 イ 開国和親 ウ 尊王攘夷 エ 殖産興業 オ 大政奉還
カ 地租改正 キ 秩禄処分 ク 富国強兵

問 2 《知》下線部 a に関する説明として明らかに不適切なものを、次のア～エのうちから 1 つ選
びなさい。

ア オスマン帝国の支配下にあったバルカン半島では、キリスト教徒による民族運動が本
格化し、ギリシアが独立した。
イ イギリス東インド会社のインド人傭兵がおこした反乱が鎮圧された後、東インド会社
が解散させられ、インドはイギリス本国による統治に移行した。
ウ オスマン帝国のエジプト総督だったアブデュル・メジト 1 世は、オスマン帝国政府と
の戦争を経て総督位の世襲を認められ、事実上帝国から自立した。
エ シyam は、イギリスとフランスの開国要求を受け入れて不平等条約を結んだが、独立
は維持し、チュラロンコン王のもとでチャクリ改革とよばれる近代化政策が進められた。

問 3 《思》下線部 b に関する次の資料（一部改変・現代語訳）について、下の（1）・（2）の問
いに答えなさい。

朕が思うには、この維新にあたって、内においてはく 1 > ことをめざし、外にあつては
く 2 > ことをめざすならば、制度と実際とを合致させ、政府の命令を 1 つに統一しなけ
ればならない。朕は以前に諸藩の（ ）の申し出を聞き入れ、新たに知藩事を任命し
てそれぞれの職を勤めさせた。ところが……中にはその名目だけで実質が伴わない藩があつ
た。……よつて今、さらに藩を廃止して県とする。

（1）く 1 > とく 2 > に当てはまる最も適切な語句の組み合わせを、次のア～エの
うちから選びなさい。

ア く 1 > 国民の安全を守る く 2 > 列国と対等に渡り合う
イ く 1 > 国民の安全を守る く 2 > 隣国に対し優位に立つ
ウ く 1 > 外国人の干渉を退ける く 2 > 列国と対等に渡り合う
エ く 1 > 外国人の干渉を退ける く 2 > 隣国に対し優位に立つ

（2）（ ）に当てはまる最も適切な漢字 4 字の語句を答えなさい。

問 4 《思》下線部 c に関する次の資料は、政府がある制度を導入する趣旨を説明するために出し
た告諭の一部を現代語訳したものである。これについて下の（1）～（3）の問いに答えな
さい。

我が国の古代の制度では、国内に兵士にならない者はいなかった。…明治維新で列藩は領地
を天皇に返還し、α 辛未の年 には古来の郡県制を復活した。代々世襲で、仕事もせずに暮ら
していた武士は、その俸給を減らし、刀剣を帯びなくても良いことになり、士・農・工・商
の四民によりやく自由な権利を得させようということになった。…西洋の諸国は数百年にわ
たつて研究し実践して、兵制を定めている。…従つて、今その長所を取り入れ、我が国の古
来の軍制にそれを補つて…全国の士・農・工・商のすべての人民男子で 20 歳になった者をす
べて兵籍に入れておき、この兵士によつて危急の場合の必要に備えなければならない。

（1）下線部 α は西暦に換算すると何年か、次のア～エのうちから 1 つ選びなさい。

ア 1853 年 イ 1871 年 ウ 1881 年 エ 1889 年

（2）この資料で政府が導入の趣旨を説明している制度を何というか答えなさい。

（3）政府は軍制をどのような理由でどのようなものに変えようとしていたのか、資料をも
とに 2 行程度で説明しなさい。その際、特に身分制度の廃止との関係に注目し、解答文中
で政府がめざした軍制のあり方を示す漢字 4 字の語句を 1 回以上用いなさい。

問 5 《知》下線部 d について、誰が何をどのように税として納めることになったのか、簡潔に説
明しなさい。

問 6 《思》明治維新とフランス革命はいずれもそれぞれの国における旧体制を大きく変革するも
のだったが、これらによつて解体された旧体制の根幹をなす制度を両国について共通して
使える語で 2 つあげなさい。なお、問題文中で使用されている用語が解答に含まれる可能
性がある。

実際の定期試験問題その 1

[3] 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(計30点)

現在の世界では、理念としては市民社会の原理が普及している。そのような原理の実現に向かう動きは18世紀後半に欧米諸国で始まり、a アメリカ独立革命やフランス革命に代表される(1)によって飛躍的にすすめられた。

17・18世紀に海外植民地の獲得を続けたイギリスは北アメリカにも植民地を持つようになったが、このうちカナダを除く13の植民地では、イギリス本国が新規の課税や、茶の貿易になどに関して本国商業の利益を優先して植民地に負担を課すような政策を打ち出すと、「(2)なくして課税なし」という論理を掲げて激しく抵抗し、ついに本国との戦争に踏み切り、A 独立宣言を決議した。独立が達成されると、共和政で三権分立の原則をとる合衆国憲法が制定され、独立した諸b 邦(州)が合同する連邦国家が設立された。ブルボン朝の【 1 】王政のもとあったフランスでは、税制の改革をめぐるおきた紛争をきっかけとして、憲法制定をめざす国民議会が成立した。王権側がこの動きをおさえつけようとしたのに対し、パリの民衆が蜂起してバスティーユ監獄を襲撃するとフランス革命が始まり、政治の主導権は国民議会に移り、B 人権宣言が決議され、この宣言に基づく憲法が制定された。しかし、フランスではその後政治体制の変転が続き、共和政が定着したのはフランス革命が始まってから約(1)年後のことだった。

(1)がおこると、人々をc 国民としてまとめ、国家にむすびつけることが新たな国家統合の論理となった。このような国家を国民国家といい、国民国家の樹立や強化をめざす思想や運動をナショナリズムという。また、(1)を通じて市民の自由を保障するために国家権力を憲法によって制限する【 2 】体制と市民が(2)を通じて政治に参加する権利を保障するための議会制の整備が追求されるようになった。このような政治制度を求める思想を【 3 】とよぶ。ナショナリズムや【 3 】は、さまざまな国や地域で革命や独立運動の原動力となった。ヨーロッパではフランス革命の後にウィーン体制とよばれる大国主導の国際秩序が成立し、【 3 】やナショナリズムを抑圧して君主中心の伝統的な支配体制を維持しようとした。しかし、【 3 】的な変革を求める動きは強まり、特に(2)年にはヨーロッパ諸地域で革命がおきた。これらの変革の動きは多くの場合失敗に終わったが、「(3)」ともよばれるこうした動きを通じてウィーン体制は崩れ、【 2 】体制の導入や国民国家の形成が進んだ。たとえば、ドイツの場合、(2)年革命が挫折するなかで、C プロイセン憲法が制定され、(4)戦争の勝利を機にドイツ帝国が成立した。

こうした欧米諸国の動向を背景に、列強の圧力に直面したアジア諸国の間でも西欧的近代化を図る動きが始まり、欧米諸国を模倣して憲法を制定する動きが現れた。オスマン帝国では【 4 】であることを内外に示すことを目的としてD ミドハト憲法が発布された。しかし、スルタンはロシアとの戦争がおこると憲法を停止し、専制政治を行なった。

日本においても明治維新後の国家のあり方を模索する中で自由民権運動が巻き起こり、E 民権派によるさまざまな憲法案が作成された。一方政府も欧米モデルの近代化を図る改革の一環として憲法制定をめざしていて、自由民権運動に対抗して国会開設を約束する勅諭を発し、(5)をヨーロッパに派遣して憲法の内容と運用の実態を調査させた。これをふまえて、(3)年にF 大日本帝国憲法が制定された。

実際の定期試験問題その2

問1《知》(1)～(5)に当てはまる最も適切な語句をそれぞれ答えなさい。

問2《知》【 1 】～【 4 】に当てはまる最も適切な語句を、次のア～シのうちからそれぞれ選びなさい。

ア 社会主義 イ 自由主義 ウ 正統主義 エ 絶対主義 オ 立憲主義
カ 軍事国家 キ 法治国家 ク 民主国家

問3《知》〈 1 〉～〈 3 〉に当てはまる適切な数を、次のア～ののうちからそれぞれ選びなさい。

ア 10 イ 100 ウ 200 エ 1789 オ 1848 カ 1868 キ 1889

問4《思》下線部aの2つの事件がおこる直接のきっかけになったのは、いずれもあるものをめぐる対立や紛争だった。そのあるものとは何か、問題文をもとに答えなさい。

問5《知》下線部b・cをそれぞれ英語では何というか答えなさい。

問6《思》下線部A～Eから引用した次の資料(原文が外国語のものは日本語訳、日本語のものは現代語訳)について、下の(1)～(4)の問いに答えなさい。なお、解答は引用されている条文に基づいて行うものとする。

A ……すべて人間は(I)につくられている。すべての人間はその創造主によって、誰にも譲ることのできない一定の権利を与えられている。これらの権利の中には、生命、自由、そして(II)の追求が含まれる。これらの権利を確保するために、政府が設置される……こうした政府本来の目的を破壊するようになれば、人々はいつでもそうした政府を改変し、廃止する権利を持っている。

B 第1条 人間は自由で権利において(I)なものであるとして生まれ、かつ生きつづける。
……

第2条 あらゆる政治的結合の目的は、人間のもつ絶対に取り消し不可能な自然権(人間が生まれながらに持っている権利)を保全することにある。これらの権利とは、自由、所有権、安全、および王政への抵抗である。

第3条 すべて主権の根源は、本質的に国民のうちに存する。……

第6条 ……すべての市民は、法律の目には(I)である。

C 第30条 ……2)法律は、特に公共の安全の維持のために、本条および前条によって保証される権利(結社の自由等の権利)の行使を規制する。

第46条 国王は軍の最高指揮権をとる。

第62条 立法権は、国王と二つの議院(二院制の議会の議院)によって共同して行使される。

D 第7条 ……陸海軍の統帥(統率し指揮すること)、軍事行動の指揮……は、スルタン(イスラームの国の君主の称号)の神聖なる大権に属する。

第8条 オスマン国籍を有する者はすべて、いかなる宗教及び宗派に属していようと、例外なくオスマン人と称される。

第12条 出版は、法律の範囲内において自由である。

E 第42条 日本の人民は法律上（Ⅰ）とする。

第72条 政府がわがままにこの憲法に背き、勝手に人民の自由の権利を害し、建国の趣旨を妨げる時には、日本国民はその政府を打倒して新たな政府を設けることができる。

(1) (Ⅰ)・(Ⅱ)に当てはまる最も適切な語句をそれぞれ答えなさい。

(2) A・Bにおいて人間の権利（自然権）はどのような性格のものと認識されているか、そのことがもっとも明確に書かれている部分それぞれ20字以内で書き写しなさい。また、このような性格をもつ権利を現在の日本国憲法では何とよんでいるか、答えなさい。

(3) C・Dから読み取れることとして最も不適切なものを、次のア～エのうちから1つ選びなさい。

ア Cにおいては、立法権は国王にのみ属するものとされている。

イ Dにおいては、オスマン国籍を有する者はすべてイスラームを信仰しなければならないものとされている。

ウ C・Dのいずれにおいても、軍の指揮権は君主に属するものとされている。

エ C・Dに含まれる自由に関する規定においては、自由は法律の範囲内で認められるものとされている。

(4) Eを書いた人物を答えなさい。

問7《知》下線部Fについての次の文章の（Ⅰ）～（Ⅳ）に当てはまる最も適切な語句をそれぞれ答えなさい。なお、解答に問題文中で使用されている語句が含まれることがある。

大日本帝国憲法は天皇が定める（Ⅰ）憲法として発布された。天皇はすべての統治権を有したが、立法権・行政権・司法権はそれぞれ異なる機関の協力や補佐を受けて執行されることになっていた。立法権を担ったのは衆議院と（Ⅱ）からなる帝国議会で、衆議院議員は選挙で選ばれたが、選挙権は一定の税金を納める（Ⅲ）に限定された。帝国憲法には言論・出版・集会・結社の自由なども規定されたが、いずれも（Ⅳ）の範囲内でしか認められなかった。

問8《思》下線部C・D・Fは比較的近い年代に制定された。これらの憲法と同時期のイギリス・フランス・アメリカなどの憲法や政治体制を比べるとどのような違いがあるか、下線部C・D・Fの特徴を1行程度で説明しなさい。

実際の定期試験問題その3

「歴史総合」 サンプル問題（2021年3月公表）

第2問 「歴史総合」の授業で、世界の諸地域における近代化の過程について、ある主題を設定して、資料を基に追究した。次の文章A・Bを読み、後の問い（問1～6）に答えよ。（資料には、省略したり、現代日本語に訳すなど改めたりしたところがある。）

A 最初の授業では、アジアにおける憲法の制定に着目し、次の二つの資料を踏まえて主題を追究した。

資料1 オスマン帝国憲法（ミドハト憲法）

- 第4条 **ア** 陛下はカリフ位によりイスラーム教の守護者であり、全臣民の元首にして **ア** である。
- 第8条 オスマン国籍を有する者は全て、いかなる宗教及び宗派に属していようと、例外なくオスマン人と称される。
- 第11条 帝国の国教はイスラーム教である。この原則を遵守し、かつ人民の安全または公共良俗を侵さない限り、帝国領において認められているあらゆる宗教行為の自由、及び諸々の宗派共同体に与えられてきた宗教的特権の従来通りの行使は、国家の保障の下にある。
- 第113条 国土の一部で混乱が生じることが確実な証拠や徴候が認められる場合、政府はその地域に限り臨時に戒厳を布告する権利を有する。（略）
国家の安全を侵害したことが、（略）明らかになった者を神護の帝国領から追放し、退去させることはただ **ア** 陛下のみが行使することのできる権限である。

資料2 大日本帝国憲法

- 第1条 大日本帝国は万世一系の天皇が統治する。
- 第3条 天皇は神聖であり、侵してはならない。
- 第7条 天皇は帝国議會を召集し、開会・閉会・停会及び衆議院の解散を命じる。
- 第11条 天皇は陸海軍を統帥する。
- 第14条 天皇は戒厳を布告する。

「統帥権干犯問題」までは学習していながいが、ミドハト憲法や大日本帝国憲法、プロイセン憲法の相違点や類似点を学習したことを踏まえて、問題に挑んだ。

77.5%
正答率

問1 井上さんは、二つの憲法を比較して、どちらも君主の大権が強いことに気づき、その規定が関係した歴史上の出来事を調べて、次のカード1にまとめた。
資料1及びカード1中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

カード1

オスマン帝国

資料1の憲法制定の中心となったミドハト＝パシャは、**ア** によって第113条の規定を理由として追放され、憲法も、ロシアとの戦争をきっかけに停止された。

日本

ロンドンで開かれた国際会議で **イ** ことが、資料2の **ウ** で規定された天皇の大権を侵すものだとする批判が起こり、首相が狙撃される事件のきっかけとなった。

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| ① ア — 教皇 | イ — 国際紛争解決の手段としての戦争を否定した |
| ウ — 第7条 | |
| ② ア — スルタン | イ — 国際紛争解決の手段としての戦争を否定した |
| ウ — 第14条 | |
| ③ ア — ツァーリ | イ — 勅許を得ないまま通商を取り決めた |
| ウ — 第14条 | |
| ④ ア — 教皇 | イ — 勅許を得ないまま通商を取り決めた |
| ウ — 第11条 | |
| ⑤ ア — スルタン | イ — 政府が兵力量を取り決めた |
| ウ — 第11条 | |
| ⑥ ア — ツァーリ | イ — 政府が兵力量を取り決めた |
| ウ — 第7条 | |

問 2 水谷さんは、資料 1 と資料 2 が制定された経緯を調べ、共通の背景と個別の事情を次のカード 2 にまとめた。カード 2 中の空欄 **エ** ～ **カ** に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

カード 2

憲法制定の共通の背景

どちらも **エ** ため、欧米型の政治体制を整える必要に迫られていた。

憲法制定の個別の事情

- ・オスマン帝国は、**オ** から議会制の立憲国家に変わること、領内の非ムスリムをつなぎ止め、国民として位置付けようとした。
- ・日本が立憲国家・議会政治の道に進んでいったことの国内的な背景には、幕末以来、**カ** 公議政体の考え方が国内で広く唱えられていたことが挙げられる。

- ① **エ** — 欧米列強の政治的圧力や経済的進出に対抗する
オ — イスラームの規範に基づく国家
カ — 広く意見を集めて政治を行うべきとする
- ② **エ** — 欧米列強の政治的圧力や経済的進出に対抗する
オ — 政教分離に基づく世俗国家
カ — 翼賛体制で挙国一致を目指す
- ③ **エ** — 社会主義思想に基づく革命運動を抑える
オ — 政教分離に基づく世俗国家
カ — 広く意見を集めて政治を行うべきとする
- ④ **エ** — 社会主義思想に基づく革命運動を抑える
オ — イスラームの規範に基づく国家
カ — 翼賛体制で挙国一致を目指す

74.8%
正答率

前の単元「結びつく世界と日本の開国」における、ペリー来航への幕政の対応。



エやカは、授業において「アヘン戦争前後からの列強への接近（欧米の圧力）」や「公議輿（世）論」を解説。

「ペリー来航に日本はどのように対応したか？」
「日本では、どのようなタイミングで『ナショナリズム』を意識したか」
＝ **ナショナリズムへの気付き**

問 3 本多さんは、資料 1・資料 2 の分析を深めるために、近代にアジアでつくられた他の憲法の資料を探し、清でつくられた憲法原案である資料 3 の「欽定憲法大綱」を見付けて、カード 3 にまとめた。カード 3 中の空欄 **キ** に当てはまる文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料 3 清の欽定憲法大綱（1908 年）

- 一 皇帝は帝国を統治し、万世一系であって、永遠に尊び推戴される。
- 二 皇帝は神聖にして尊厳であり、侵してはならない。
- 四 皇帝は議院を召集・開閉会・停止・延長及び解散する権限を持つ。
- 六 皇帝は陸海軍を統率し、軍制を編定する権限を持つ。

カード 3

資料 3 と資料 1・資料 2 との比較

- ・資料 1 との比較：資料 3 には宗教についての規定は見られない。
- ・資料 2 との比較：資料 3 と共通する内容や表現が非常に多い。

資料 3 の特徴やつくられた経緯についての考察

キ。

- ① 資料 1 と違って宗教についての規定がないのは、文化大革命によって伝統的な文化や宗教が批判されたことが反映していると考えられる
- ② 太平天国の鎮圧に当たった有力官僚が軍備や工業に西洋の技術を導入する改革を行う過程で、資料 1 を手本としてつくったものと考えられる
- ③ 資料 2 を制定する際の参考にするために、伊藤博文らが訪問して内容を調査した憲法に当たると考えられる
- ④ 日露戦争で日本が専制体制のロシアに勝利したことに刺激されて、資料 2 を参考にしてつくったと考えられる

・ 1908年
→ 日露戦争による日本の勝利で、アジアのナショナリズム、植民地支配に対する意識が変化。

80%
正答率

3 問完答者
46%

オンライン対話（10分間）

テーマ

「取り上げた問題と授業実践について」

各ルームで、簡単に自己紹介していただき、現状の課題等を含め、対話してください。

個別試験のご紹介

Z会 世界史担当 芦田加奈

個別試験に目を向けてみると...

- 日本史と世界史を横断するような切り口の問題
- 共通テストで重視されるようになった

思考力・判断力が問われる問題

→2023年度 大阪大学 世界史 II 問4
をご紹介します。

2023年度 大阪大学 世界史 II

図1～図6の確認

問4 問題文

※ 入試問題は[大阪大学のWebページ](#)よりご確認ください。

2023年度 大阪大学 世界史 II 問4 図1・2

図1 説明文

図2 説明文

- ・ ヨーロッパにおけるキリスト教的世界観, 日本における
仏教的世界観が世界図に反映されている
→それぞれの地域世界がそれぞれ独立していた

各地域世界が地域世界としてまとまり独立していた

2023年度 大阪大学 世界史 II 問4 図3・4

図3 説明文

図4 説明文

- ・ ヨーロッパの世界図に日本が描かれている
 - ・ 日本の世界図に、ヨーロッパのものと同じ特徴が見られる
- 日本とヨーロッパが相互に情報交換を行うようになった

2023年度 大阪大学 世界史 II 問4 図5・6

図5 説明文

図6 説明文

- ・ どちらの地図でも、ヨーロッパが進出した地域
（アジア・オセアニア）の地図が精緻化した
→日本とヨーロッパの情報交換がさらに進んだ

2023年度 大阪大学 世界史 II 問4 まとめ

問4 問題文

- ・ 分析の視点を変えながら，多角的に日本と世界を眺める
- ・ 世界図を比較・分析して，それぞれの世界図の特徴を掴む
- ・ 「なぜ世界図はそうように変わったのだろうか」
という問に答える

→問題を解く中で，歴史の大きな流れに対する理解が深まる

オンライン対話（10分間）

テーマ

「私は何を目標として授業を行っているか、その授業における成果（学力）を評価する手立てとして何を行っているか」

最後に

高校探究プロジェクト委員

東京学芸大学 准教授 日高 智彦 先生 より

- ・ペーパー試験は評価の一形態。どんな「学力」を育成すべきかが先立つ（一形態のために授業を全振りすることにとはならない）ことを忘れずに。
- ・生徒の社会認識の成長にとって、地理／歴史／公民の授業の役割とはいかなるものか。授業から積み上げていく先に、入試問題も改善されていく。（入試問題の改善を私たち自身が担っているということ）